

JAあつぎ
<https://www.ja-atsugi.or.jp/>
JAあつぎ 検索



▲JAあつぎ公式



▲農産物直売所
「夢末市」



▲JAあつぎ公式
「ゆめみちゃんねる」



▲農産物直売所
「夢末市」

組合
理念

夢ある未来へ 人とともに、街とともに、大地とともに…

(組合が存在する意義、理由、目標を表わしたものです)

JAあつぎは、組合理念のもと、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として、支所店を中心にさまざまな事業活動を展開しています。准組合員の皆さまにおかれましては、当JAの事業をご利用いただくとともに、各地区で展開する協同活動にご参加いただき感謝申し上げます。地域の農とくらしをともに支えるパートナーである准組合員の皆さまが当JAの事業を利用していただくことは、厚木市・清川村の農業の発展に役立っています。准組合員の皆さまに管内農業やJA事業に関する理解をさらに深めていただくための広報紙として「Green Page」をお届けします。

地域農業の明るい未来には 「青年農業者」の力が鍵!

— JAあつぎ青壮年部の魅力に迫る —

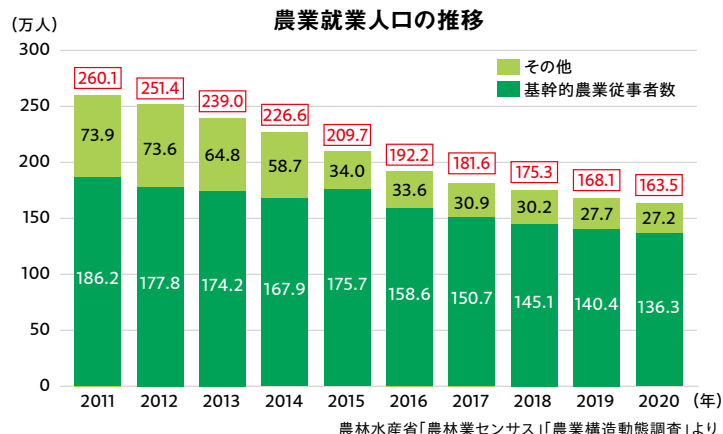


JAあつぎ代表理事組合長
おおぬき もりお
大貫 盛雄

日本では、少子高齢化に伴い全国的に農業者が減少しており、遊休農地の増加など、さまざまな問題が発生しています。JAあつぎ管内でも同様に、農業従事者の減少や高齢化が進んでいます。

そのような中、JAあつぎでは持続可能な地域農業の実現に向け、農家後継者への支援や新規就農者の受け入れなど、さまざまな対策を行っています。

地域農業の明るい未来には、若い力が必要不可欠です。今回は、厳しい情勢下でも精力的に活動を行う青年農業者の組織「JAあつぎ青壮年部」に着目。あつぎの農業を支える次世代の農業者について一緒に学びましょう!



ページをめくって、地域で活躍する私たちの仲間や
未来の農業に向けた活動を知ってください!



JAあつぎ青壮年部とは

JAあつぎ管内の若手農業者が集う組織です。本部と7つある支部に62人が所属し、地域貢献や協同活動の推進、部員同士の親睦などを目的に活動を行っています。

農業に対するさまざまな視点や考え方を部員同士で共有し、地域農業の明るい未来の実現に向けた活動を展開しています。

今回は同部が行う農業振興や地域貢献に関する取り組みと、多種多様な農業分野で活躍する部員をご紹介します。



～多種多様な農業を営む部員と地域農業の未来に向けた活動～

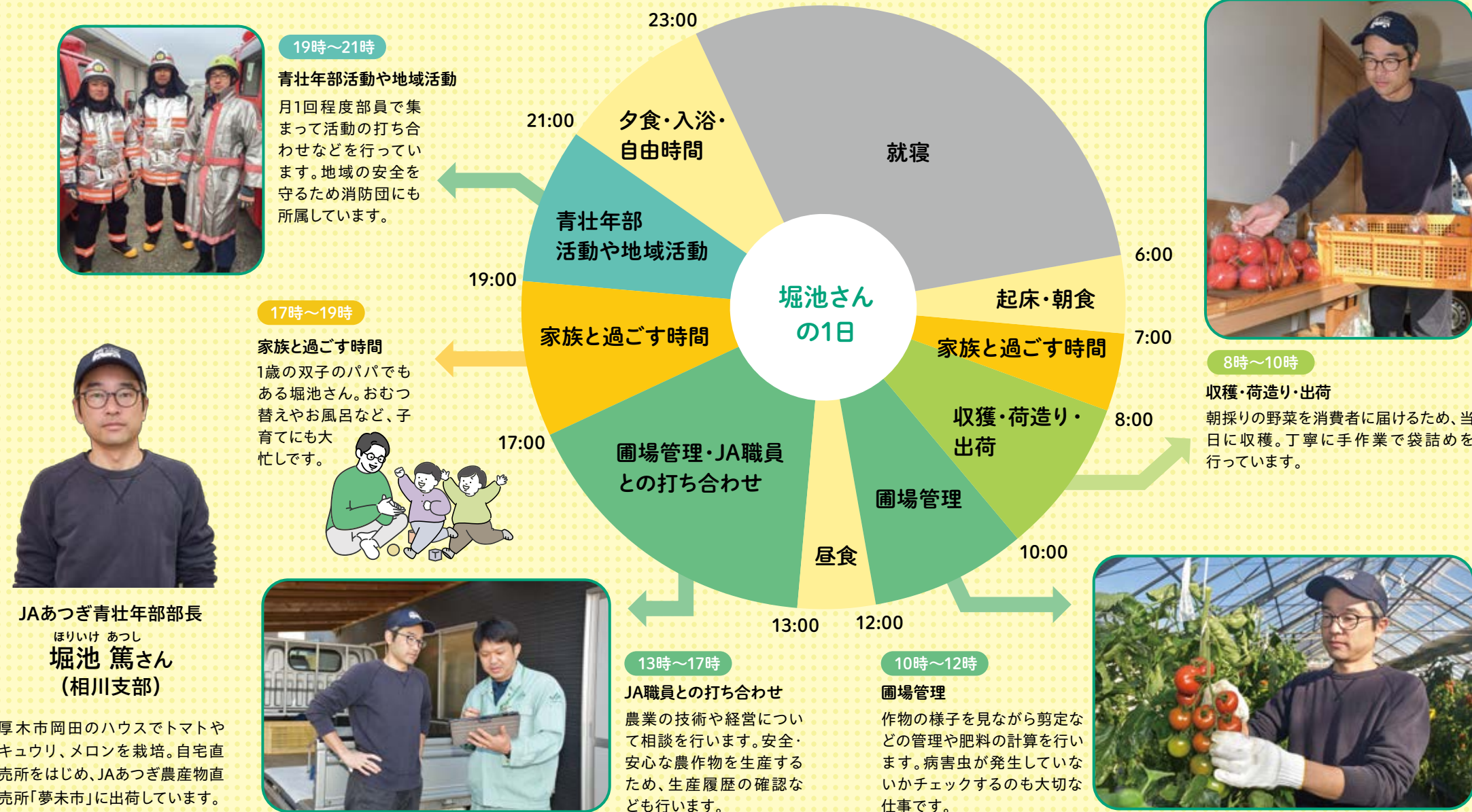
地域農業の担い手 青壮年部

地域農業の明るい未来を実現するためには、次世代を担う若手農業者の存在が欠かせません。
青壮年部員は、水稲や露地野菜、施設園芸、果樹、酪農など、さまざまな農業を営みながら、
地域農業の大切さを伝える活動に取り組み、農業振興に貢献しています。



Check!1 青壮年部員の1日

生産者として皆さんの食卓に新鮮な農畜産物を届けている青壮年部員。どのような生活を送っているか、なかなか知る機会が少ないと思います。今回は農業経営に励みながら、地域貢献にも力を注ぐJAあつぎ青壮年部堀池部長の1日取材しました。



Check!2

さまざまな農業分野で活躍する青壮年部員

高品質な花苗や野菜苗を地域に

花き

のぐち てつや 野口 哲也さん(荻野支部)

厚木市下荻野で、パンジーやビオラ、マーガレットなどの花苗や、野菜苗を栽培。地球温暖化や、薬剤抵抗性を持った病害虫に対応するため、定期的な消毒で対策を行い、高品質な苗の栽培につなげています。



青壮年部には就農当初の22歳から所属しています。同じ支部の部員をはじめ、他地域の若手農業者とも相談できる環境を得られることが青壮年部のメリットだと思います。これからも仲間やJAと協力して、地域で生産される農畜産物の魅力を積極的にPRしていきたいと考えています。

向上心を持って野菜栽培の経験重ねる

野菜

はせがわ たくみ 長谷川 拓海さん(荻野支部)

2018年に新規就農し、厚木市上荻野でネギや葉ニンニクなどの露地野菜を育てています。雑草が増えないよう小まめに畑を管理するほか、作物の様子を見ながら適度に追肥を行うなど、丹精込めて栽培を行っています。



青壮年部への加入は、地域の農家と関係を持つきっかけになりました。栽培についてアドバイスをもらうことも多く、農業経営に役立っています。農業まつりでは、部員が生産する農産物を使って料理を振る舞うなど、消費者の反応を直に感じられる取り組みも多く、活動にやりがいを感じています。

徹底した管理で安全・安心な牛乳を生産

酪農

もりや まさてる 守屋 雅央さん(小鮎支部)

厚木市上古沢で約40頭の牛を飼育し、県酪農業協同組合連合会を通じて乳業メーカーに牛乳を出荷しています。衛生管理を徹底するほか、体調を崩しやすい産前産後には夜間にも牛舎を見回するなど、牛の健康には特に気を配っています。



牛乳消費の減少や飼料の高騰など、酪農家は厳しい状況下に置かれています。青壮年部活動では、地場農畜産物の消費拡大やコスト上昇に伴う支援など、農業者の声を行政に届ける機会もあります。今後も組織一丸となり、地域農業を守る活動を続けていきたいと考えています。

地域の中で輝く!

Check!3 青壮年部員の活動

JAあつぎ青壮年部では、農業に関わる活動のほか、教育活動をはじめとした地域貢献、JAや行政への積極的な働きかけなど、より良い地域農業の実現に向け、さまざまな活動を展開しています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

地域農業のPRや技術の研究



地域住民を対象に
対面販売を実施



知識の習得に向け
土壌診断の講習会を実施

地域貢献・食農教育活動



地域の景観美化に向け
ヒマワリを栽培



通年型食農教育事業
「親子夢未Kidsスクール」に協力

協同活動への参画やJA・行政に対する提言



地場農畜産物を使った
豚汁などを提供



厚木市長に
「ポリシーブック」を提出

厚木市農業まつり畜産祭・収穫祭や各地区農業まつりなどの協同活動に参加。地域農業とJAのPR、食と農の大切さや、地産地消の推進につなげています。また、自分たちの目指す農業のあり方を組織内外に発信するために「ポリシーブック」を作成し、JAや行政に政策提出を行うなど、より良い地域農業を目指すために提言を行っています。

JAあつぎ直売所ガイド

イベント情報など詳しい内容は
JAあつぎホームページでご確認ください。

JAあつぎ



夢未市
厚木市温水255 ☎046-290-0141
営業時間 午前9時30分～午後5時
休業日 毎月第3水曜日(3月・9月は第2水曜日
8月・12月・1月は除く)および1月1日～4日



グリーンセンター
厚木市及川1161-1 ☎046-241-6150
営業時間 午前9時～午後5時
※精米機は午後4時30分まで
休業日 毎月第2水曜日(1月・5月は除く)
12月31日～1月4日



Tomoni内「夢未市出張販売所」
厚木市泉町3-13(厚木駅前農協会館1階)
営業時間 午前10時30分～午後2時
休業日 土曜日・日曜日・祝日・夢未市休業日

※各店舗とも状況により営業時間が変更になる可能性があります

あつぎせせらぎ米 (4.5kg精米) 5kg玄米

特別割引券 1,950円 → 1,650円(税込)

キリトリセン

券を使う方に質問です! あつぎせせらぎ米を購入している理由は?(複数回答可)

A. 味が好み B. 価格 C. 地場産 D. 食べ慣れている E. 品種 F. 冷めてもおいしい G. その他()

有効期限: 2023年3月1日～31日まで有効(但し土日・休業日を除く)
※夢未市・グリーンセンター・Tomoni内「夢未市出張販売所」でご利用いただけます
※1会計につき本券1枚限り有効(コピー不可)

あつぎの農業を食べて応援！
キャンペーン
楽しく学んで、おいしく食べる
Enjoy learning and eating deliciously.
お米が食べなくなる
食農講座！



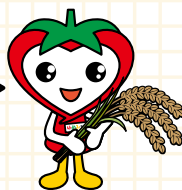
キャンペーンの詳細内容や応募方法は、JAあつぎホームページをチェック！

応募券

〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を食べて応援！キャンペーン係宛

キャンペーン開催中！ぜひご応募ください！

食べたくなった時がおいしい時！
皆さんがどのようにしてお米を
おいしく食べたかを教えてください！



今回の
プレゼント



※写真はイメージです

応募期間 2023年
2月15日(水)～3月31日(金)

応募内容 お米を使った料理やお米に関するエピソードなどを教えてください。

直売所スタンプラリーも同時開催します♪

新鮮な農畜産物を買いに直売所へ足を伸ばしてみてください！

あつぎせせらぎ米堪能セット 合計30名様
(米・日本酒・煎餅詰め合わせ)

応募方法と当選者数

10
名様



スタンプラリー

直売所を巡ってスタンプを集め、
店頭の応募箱に投函または郵送
して応募！

10
名様



Instagram

「#私もあつぎの米スター」につ
けて、お米を使った料理やあつぎ
せせらぎの写真を投稿して応募！

5
名様



応募フォーム

JAあつぎのホームページ内にある
応募フォームから、簡単なアンケ
ートに答えて応募！

5
名様



ハガキ

「JAあつぎコミュニティーNo.44」
または「グリーンアートあつぎ3月
号」、「グリーンページ2月号」の応
募券を貼って応募！

JAあつぎ直売所スタンプラリー

夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」・管内巡回の移動販売車「ゆめみちゃん号」の
うち2カ所を巡り、それぞれの店舗で備え付けの「ゆめみちゃんスタンプ」を押してご応募ください！



スタンプ欄



スタンプ欄

【応募方法】

スタンプを押した当台紙を切り取り、任意の封筒にて郵送し
ていただくか、夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市
出張販売所」に設置されている応募箱に投函してください。

【注意事項】

備え付けのスタンプには、店舗名が入っています。必ず異なる
2カ所のスタンプを押してご応募ください。
※移動販売車は、2カ所の巡回場所を訪れても、スタンプは1つとなります

【個人情報について】

個人情報は、抽選、賞品発送に利用させていただきます。

【郵送の際の応募先】

〒243-0004 厚木市水引2-9-2 JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を食べて応援！キャンペーン係宛

※郵送料についてはお客さまのご負担となりますのであらかじめご
承ください

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

応募用紙

氏名		年齢	
郵便番号	〒	-	
住所			
電話番号			

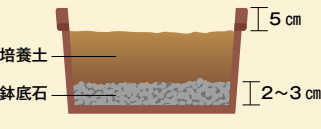
家庭菜園 ワンポイント アドバイス

プランターで育てる小カブ

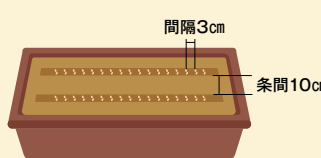
栽培の手順・ポイント

カブは直根性で、植え替えができないので、直播きで栽培します。
今回は、深めのプランター(40リットル)での栽培方法をご紹介します。

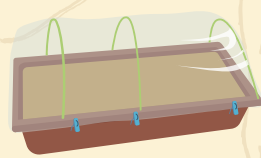
1 プランターに鉢底石(高温でガラスを処理した、白い軽石
状のもの)を2～3cmほど敷き詰め、プランターの上から5cm
くらいの深さまで培養土を入れます。表面をならし、水差
などで深さ1cmほどの溝を条間10cmで2列掘ります。



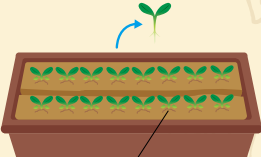
2 溝に、3cm間隔で2粒ずつ種をまき、指で土をつまむよう
にして、溝を埋めていきます。水やりは、ジョウロでプラン
ターの横穴から水がしみ出るくらいたっぷりやります。



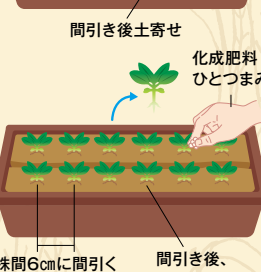
3 カブはアブラナ科の野菜なので、アオムシやコ
ナガ、アブラムシなどの害虫防除が必要です。
種まきしたら、目合い1mm程度の防虫ネットをト
ンネル用支柱の上に掛け、末端を洗濯バサミな
どで止めて、しっかりと固定します。



4 3日ほどで、双葉が出てきます。1カ所から芽が2
本出ていたら、双葉の形がきれいで、発芽が早
いものを1本残して、もう1本を間引きます。残し
た1本の根元を指で軽く抑えるようにして、芽の
ぐらつきをなくします。



5 本葉が4～5枚になったら、株間6cmになるよう1
本おきに引き抜き、2回目の間引きをします。残
した苗の間に軽く化成肥料(窒素・リン酸・カリ
ウム各8%)を施用します。本葉が7～8枚を超
え、根の直径が5cmくらいになったら、いよいよ
収穫です。



お便りコーナー 皆さんのお便りお待ちしております！

テーマ 夢末市のお気に入り商品を教えてください！
締め切り 2023年3月31日(金)
プレゼント 抽選で10名の方に夢末市等で使える商品
券1,000円分をプレゼント！
当選者の発表は、発送をもってかえさせて
いただきます。

投稿方法 ハガキまたはFAX、ホームページにて①～⑦の項目を
記載し、ご投稿ください。
■ハガキ/右記の通り ■FAX/046-223-8814
■ホームページ/
<https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenpage/>
※ご記入いただいた個人情報は、抽選、賞品発送に利用するほか、個人を特定
できない統計情報としてうえて、マーケティング等に利用させていただきます

QRコードを読み取
るとホームページの
投稿フォームが表示
されます。



切手 243-0004
厚木市水引
2丁目9番2号
JAあつぎ総合企画部
グリーンページ係宛

①テーマ
②郵便番号・住所
③氏名
④年齢 ⑤電話番号
⑥当広報紙で取り上げ
て欲しい情報
⑦当広報紙へのご感想
やJAに対するご意
見・ご要望

※①～⑦すべてをご記入ください